

## 第37回岩手県勤労者美術展 審査評

開催期間 2018年11月 8日(木)～ 11日(日)

表彰式 2018年11月11日(日)午後12時30分～ 盛岡市民文化ホール・展示ホール

〈〈絵画の部〉〉 出展数 63点

たねくら のりあき  
審査員：種倉 紀昭 氏

賞	氏名	作品名	作品評
岩手県知事賞	菅原 東一郎	残雪の集落	抑制された色彩で切れ味の良い筆触の表現が力強い。
優秀賞	平野 展子	新しい命	大きな構成で、新しい芽吹きを的確に描いている。
奨励賞	佐藤 英子	Work 2018 - 『深層心理』	題名の如く、人間の表層の明るさの陰にある不条理やユーモアを良く表現している。
奨励賞	大澤 和江	谷川晩秋	太い線の構成が抽象的表現になって躍動感がある。
佳作	伊藤 勇	斜 陽	根雪のある早朝(か夕方)の川べりの斜陽のあたる風景を観察力鋭く、良く表している。
佳作	荒井 賢二	夏休み	細密画的表現でSLと子どもたちを的確に描いている。
佳作	浅利 文子	午後のアトリエ	白抜き技法を巧みに使ったさわやかな水彩、静物画である。
佳作	浅沼 正夫	白い天使	東南アジアの仏教遺跡のひとつを着実に水彩で描いている。
佳作	上野 仁志	ケルン大聖堂	第二次大戦の連合軍の反攻で破壊されたドイツのケルンの街と大聖堂。よみがえった大聖堂と街の夜景が丁寧に美しく描かれている。
審査員特別賞	細川 幸子	冬の溪谷	何よりも色彩感覚が生き生きとした風景、油彩画であると思う。

**\* 総 評 \***

例年よりも品数が増えたと聞きました。賞の数がもう少し多ければ、賞を差し上げたい人が多いです。20号以上の作品に良い作品が多いと思いました。それぞれの方の主題や手法を大切にしてください。

# 第37回岩手県勤労者美術展 審査評

開催期間 2018年11月 8日(木)～ 11日(日)

表彰式 2018年11月11日(日)午後12時30分～ 盛岡市民文化ホール・展示ホール

<<その他の部>>(切り絵) 出展数 24点 審査員: <sup>たねくら のりあき</sup>種倉 紀昭 氏

賞	氏名	作品名	作品評
特別賞	坂下 栄次郎	鹿踊り(三頭)	絵の迫力はともかく、大変な手間がかかっていると思いました。

\*総評\*

皆さんの作品、すべて素晴らしいと思います。自分には真似ごとさえ出来ません。

## 第37回岩手県勤労者美術展 審査評

開催期間 2018年11月 8日(木)～11日(日)

表彰式 2018年11月11日(日)午後12時30分～ 盛岡市民文化ホール・展示ホール

〈〈写真の部〉〉 出展数 91点

審査員：小川<sup>おがわ</sup> 文男<sup>ふみお</sup> 氏

賞	氏名	作品名	作品評
岩手県知事賞	福盛田 弘	幽玄桜	これ以上省略出来ないギリギリ迄の画面構成は美事という外ない。
優秀賞	福盛田 美奈子	厳寒に生きる	寒立馬の写真は沢山見ているが、「生きる」というテーマが凄く感じられる。
奨励賞	板垣 弘清	星降る高原	下部の山なみの出し方、星のナナメからの流れお見事です。
奨励賞	照井 俊男	わんこそば大会	男の顔とワンを持った手の位置がとても良い。
奨励賞	北井崎 昇	伝統魂	滝の落ちる力と男達の力のある顔が良い。
佳作	及川 茂輝	一瞬	実像と虚像との対比、背景処理申し分ない。
佳作	山田 恵子	待ってました！	カヤブキ屋根の民家の前を通り、踊りの為に正面に向かっている様子。いいプリントです。
佳作	中川 亮	熱闘	馬と人間の大きさが迫力のある写真となった。
佳作	小野 日和	「集い」	観光客の会話が自然でいい。右の女性の手ブレが良い。
佳作	佐々木 律子	奪い合い	タテ位置が非常にいいタイミングで捉えられている。
親子ふれあい賞	伊藤 憲子	「ユキとアオ」	白と黒の馬を大胆な構成で美事に写真化している。
親子ふれあい賞	大槌 國雄	てんでに	三人三様で面白い。親子ではないかもしれないが、いい写真なのでここに入れました。
審査員特別賞	君塚 みつ子	夕日の戯れ	上位に入れてもいいぐらい優秀な作品でした。(写歴を聞きたい)

**\*総評\***

応募数は昨年とほぼ変わりなく、応募者も毎年出品している人は出品している。一人二点出しても一点に絞りました。ベテランはそれなりに良く、そうでない方は、比較すると差があって入賞に入れ難く、しょうがないことです。

## 第37回岩手県勤労者美術展 審査評

開催期間 2018年11月 8日(木)～ 11日(日)

表彰式 2018年11月11日(日)午後12時30分～ 盛岡市民文化ホール・展示ホール

〈〈書道の部〉〉 出展数26点

審査員：吉田<sup>よしだ</sup> 晨風<sup>しんふう</sup> 氏

賞	氏名	作品名	作品評
岩手県 知事賞	小岩 佳代 (萌春)	新古今和歌集より	かな独特の流麗な自然な運筆が心地よいリズム感と重なり細字ながら大きな世界をつくっている。行間の間がすばらしい。
優秀賞	木内 淳子 (汀鷺)	汎準詩 松蘿谷	めりはりのある筆の動きの音が聴こえるような作品。行草作品で隅々まで行く届くような筆の使い方が印象的である。
奨励賞	西田 綾子	よもすがら	前半部分を静かにまとめ、後半は大胆な筆の使い方、動き大きく、気迫もこもって全体の静と動がわかりやすく表現されている。見て楽しい作品構成となっている。
佳作	田之岡 由美子 (青桂)	朱彝村詩	半切ながら全体のまとめ方、山場の作り方などよく鍛錬された跡が表現にあふれている。
佳作	滝村 未央 (沙央)	白居易詩 宿樟亭駅	動きが大きく、自分のリズム感で書かれ、作者の気迫が伝わってくる作品。
佳作	佐々木 光子 (洸翠)	呉統持詩	澄んだ線で丁寧に運筆され、よくまとまった作品。
審査員 特別賞	大矢 幸一 (瑞峰)	李白詩・峨眉山月歌	隸書に意表をつく渴筆を多様した規模の大きい作品。余白をあえて少なくし、線質、構成ともに新しい意欲を感じる。

**\*総評\***

大作から日常楽しめる作まであって、とても充実した作品がそろった展覧となった。個々の作品の充実ぶりが特筆される。普段鍛錬している自分の得意な形式、作品傾向からこの機に新しい試みに挑戦する気持ちももてる機会と思うので、ぜひ新しいものにこれから取り組んでほしい。次回を期待したい。